

特別賞

岡山市都市整備局

岡山駅交通結節点改善事業

都市名	岡山市	事業主体	岡山市
事業概要			
<p>岡山駅は一日約15万人が利用し、山陰、四国方面へ連絡する南北軸の結節点で、中四国地方有数の拠点駅である。しかし、鉄道で分断された岡山駅西口地域は駅東口と比べて交通結節点としての機能が活かされておらず、にぎわい創出やバリアフリー化が不十分などの課題があった。</p> <p>本事業は、交通結節点の充実及び強化、利用者の利便性・快適性の向上を図るため、岡山駅東西連絡通路を新設するとともに、西口広場を整備拡張するものである。本事業とあわせてJRが駅舎の橋上化を行い、西口交通広場を4,000㎡から13,500㎡に拡張し、車両別乗降場や駐車場の機能的な配置を行った。また、ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、点字ブロック、エレベーター、エスカレーター、触知サインやピクトグラムを採用した情報案内板を設置した。</p>			
○広場面積	：約13,500㎡	○通路延長	：117.5m
○事業費	：約145億円	○幅員	：10m
○事業期間			
：平成15年度～平成22年度			
表彰理由			
<p>交通広場を2層構造として敷地を有効活用したことで、一般車、タクシー、バス乗降場を東西連絡通路に近い位置に設置でき、各車両利用者が利用しやすい構造となっていることが高く評価された。</p> <p>また、東西自由通路はバリアフリーに配慮しているだけでなく、自然光を取り入れることで明るく賑わいをみせる通路となっており、従前の地下通路と比べて使い勝手が格段に向上していることが評価された。</p>			

東西連絡通路
(事業前)



東西連絡通路(事業後)



2層構造の交通広場

